

令和3年度第1回大阪府医療対策協議会 議事概要

日時：令和4年1月21日（金曜日）14時00分から16時30分

場所：大阪赤十字会館3階 302・303会議室

議題(1) 令和5年度以降の大阪府地域枠制度の在り方について

【論点】

○地域枠医師の指定診療業務の見直しとして、今後の新興感染症への対応を含む長期的な医療提供体制の確保や新専門医制度の開始等を踏まえ、以下の診療科を指定診療業務に加えることとしてはどうか。

①小児（新生児）外科 ②感染症 ③総合診療科

【意見概要】

- 地域枠の指定診療業務に集中治療を専門とするコースを追加して、既存のコースとは別に明示してはどうか。
- 集中治療と総合診療科はイメージとしてマッチしないため、別の医師像として取り扱うべき。
- 最短でも卒後8年目以降しか感染症専門医として働くことができないコースが、義務年限9年の地域枠医師の進路として必要か。

【結論】

- 小児（新生児）外科、総合診療科を指定診療業務に加えることとする。
- 集中治療と感染症の領域について、具体的なキャリア形成プログラムをもって、次回の医療対策協議会で再度議論を行う。

議題(2) 令和5年度初期臨床研修の募集定員の考え方について

【論点】

- 令和5年度研修開始分における初期臨床研修最終配分調整の評価項目の在り方についてどのように考えるか。
- 令和6年度研修開始分における「妊娠・出産・育児に関する施設及び取組」について。

【意見概要】

- CPC研修における剖検症例件数は、近年減少傾向であるため、1人1件は参考指標とするべき。
- 二次審査であるため、剖検症例件数は、1人1件としても問題はないのではないか。
- 病床の再編・統合・転換等における過剰病床への転換は、新型コロナウイルス感染症を踏まえた事情も考慮するべき。
- 育児施設の充実や育休が男性も女性と同じ期間取れるような制度の見直しが必要かと考える。

【結論】

- 府作成の評価項目案について、概ね了承とし細部については会長預かりとする。
- CPC研修内容・剖検症例件数は、記載内容及び剖検症例件数（1人1件参考指標）を二次審査で確認する。
- 過剰病床への転換については、新型コロナウイルス感染症の事情を考慮した上で確認を行う。

議題(3) 基幹型臨床研修病院の指定継続について

【論点】

- 移転計画書の提出のあった病院について、移転等の前後における当該病院としての同一性が認められるか。

【意見概要】

- 当該病院について、引き続き必要事項の確認をするべき。

【結論】

- 当該病院に対し追加に必要な事項を確認し、次回の医療対策協議会で再度議論を行う。

議題(4) 地域密着型臨床研修病院の新規認定について

【論点】

- 令和5年度研修開始分より地域密着型臨床研修病院の認定を希望する基幹型臨床研修病院について、書類審査の結果、設置要件を満たすため、認定してはどうか。

【意見概要】

- 府案について、了承。

【結論】

- 地域密着型臨床研修病院の認定の手続きを進める。